

様式-2(1) : 型03

日常管理調査票(1/2)

地すべり防止施設機能診断調査

<集水井工> 集水井外(安全な位置)から判別できる大きな異常の有無を確認する、点検口や立入防護柵等の施設を確認する

点検年月日 17 / 5 / 31 天候 曇り 点検者 (調査票番号: 4)

諸元	区域名	丸山4号	ブロック名		施工年度	不明
元	該当施設(施設番号)	□ 集水井工			深度	不明 m

対象項目(□にレをチェック)	異常が見られる項目(□にレをチェック)	結果(□にレをチェック)
①集水井工内部 ※集水井工内部の視認の可否 ☒ 可 ☐ 不可(状況を下記に記載) <材質・種類> ☒ 鋼製(ライナープレート等) ☐ コンクリート製(セグメント等) ☐ その他()	☐ 1.変形・損傷(せん断、傾き等) ☒ 2.腐食(著しい錆等) ☐ 3.集水ボーリングの閉塞(孔口部に付着物がある) ☐ 4.異常湛水や土砂等の堆積 (異常湛水:集水井内部の底張コンクリート天端より水面が高い場合)	☒ 異常なし ☐ 異常あり [状況]以下に該当すればチェック ☐ 植生等で見えにくい ☐ 他の理由で見えにくい []
②排水ボーリング(流末施設) ※排水ボーリング吐口の有無を確認 ☐ 有 ☐ 無(見当たらない)	☐ 1.排水がない、もしくは排水量の明らかな減少 ☐ 2.吐口部周辺の損傷 ☐ 3.吐口部周辺の埋没	☐ 異常なし ☐ 異常あり [状況]以下に該当すればチェック ☐ 植生等で見えにくい
③天蓋 ※天蓋の有無を確認 ☒ 有 ☐ 無(見当たらない) ※点検口の施設: ☐ 有 ☒ 無	☐ 1.変形・損傷 ☐ 2.腐食(錆、表面劣化等) ☐ 3.点検口の鍵の損傷・腐食等 ☐ 4.点検口の鍵がかかっていない(開いている)	☒ 異常なし ☐ 異常あり [状況]以下に該当すればチェック ☐ 植生等で見えにくい
④点検梯子 ※点検梯子の有無を確認 ☒ 有 ☐ 無(見当たらない)	☒ 1.変形・損傷 ☒ 2.腐食(錆、表面劣化等)	☐ 異常なし ☒ 異常あり [状況]以下に該当すればチェック ☐ 植生等で見えにくい
⑤安全施設(立入防止柵等) ※安全施設の有無を確認 ☐ 有 ☒ 無(見当たらない) ※入口の施設: ☐ 有 ☐ 無	☐ 1.変形・損傷 ☐ 2.腐食(錆、表面劣化等) ☐ 3.柵の錠の損傷・腐食等 ☐ 4.入口の鍵がかかっていない(開いている)	☐ 異常なし ☐ 異常あり [状況]以下に該当すればチェック ☐ 植生等で見えにくい
⑥周辺状況	☐ 1.地表の変状 (沈下・隆起・洗掘・流出・崩落・押出し・吸出し・亀裂等) ☐ 2.湿地の形成(水たまり、湧水等)	☒ 異常なし ☐ 異常あり [状況]以下に該当すればチェック ☐ 植生等で見えにくい

点検結果 ☐ 異常なし ☒ 異常あり ∴上記で一つでも「異常あり」があれば点検結果も「異常あり」とする

各項目および周辺状況で気づいた点があれば記入して下さい(自由記入)

15.25調査開始

内径:3.5m,

深さ(水面):12.06m,

立ち上がり:1.50m,

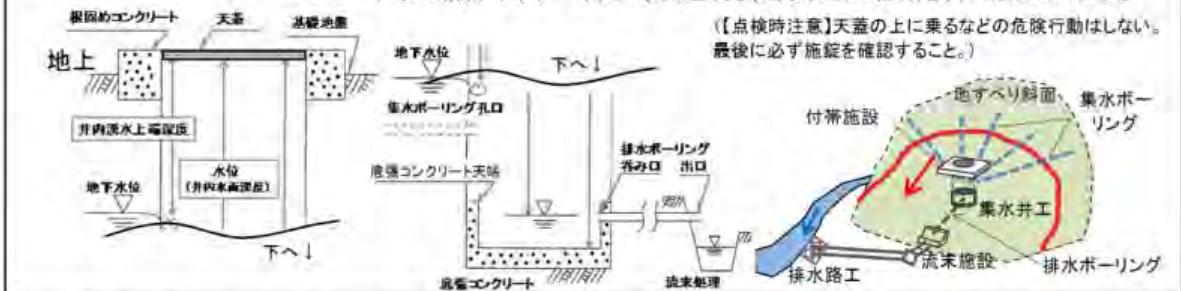
EC:326μS/cm, 水温:17.0℃

概略構造

(形状や材質には様々な種類があります)

集水井工は、暗きょ工や水抜きボーリング工等で排除できない比較的深い地下水の排除や、すべり面に働く過剰な間隙水圧の低減を目的としています。

(【点検時注意】天蓋の上に乗るなどの危険行動はしない。最後に必ず施設を確認すること。)



評価 (施設管理者記入) ☐ 1.追加調査が必要 ☐ 2.補修が必要 ☐ 3.点検を継続

様式-2(2)

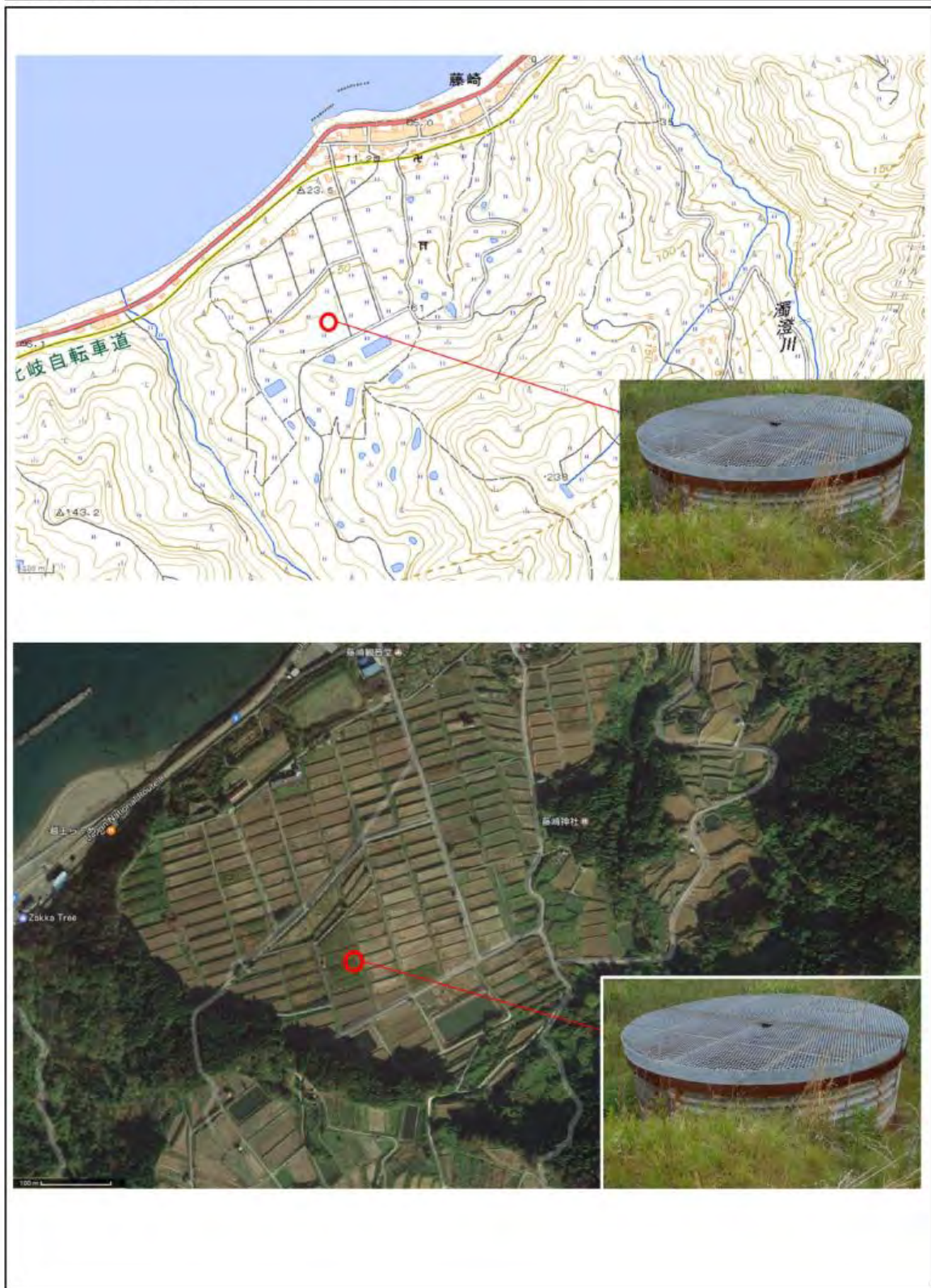
日常管理調査票(2/2)

地すべり防止施設機能診断調査

<位置図・写真(自由書式)>

点検年月日	17 / 5 / 31	天候	曇り	点検者		(調査票番号: 4)
-------	-------------	----	----	-----	--	-------------

諸	区域名	丸山4号	ブロック名		施工年度	不明
元	該当施設(施設番号)					



様式-2(2)

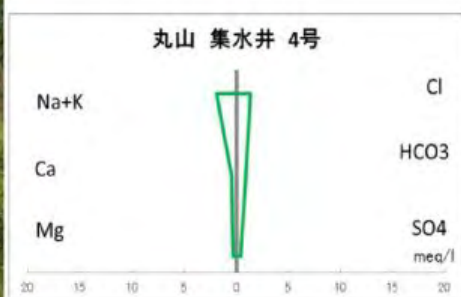
日常管理調査票(2/2)

地すべり防止施設機能診断調査

<位置図・写真(自由書式)>

点検年月日	17 / 5 / 31	天候	曇り	点検者		(調査票番号: 4)
-------	-------------	----	----	-----	--	-------------

諸元	区域名	丸山4号	ブロック名		施工年度	不明
	該当施設(施設番号)					



様式-2(1) : 型03

日常管理調査票(1/2)

地すべり防止施設機能診断調査

<集水井工> 集水井外(安全な位置)から判別できる大きな異常の有無を確認する、点検口や立入防護柵等の施設を確認する

点検年月日 17 / 5 / 31 天候 曇り 点検者 (調査票番号: 5)

諸元	区域名	丸山5号	ブロック名		施工年度	不明
	該当施設(施設番号)	□ 集水井工			深度	不明 m

対象項目(□に○をチェック)	異常が見られる項目(□に○をチェック)	結果(□に○をチェック)
①集水井工内部 ※集水井工内部の視認の可否 ☒ 可 ☐ 不可(状況を下記に記載) <材質・種類> ☒ 鋼製(ライナープレート等) ☐ コンクリート製(セグメント等) ☐ その他()	☐ 1.変形・損傷(せん断、傾き等) ☒ 2.腐食(著しい錆等) ☐ 3.集水ボーリングの閉塞(孔口部に付着物がある) ☐ 4.異常湛水や土砂等の堆積 (異常湛水:集水井内部の底張コンクリート天端より水面が高い場合)	☒ 異常なし ☐ 異常あり (状況)以下に該当すればチェック ☐ 植生等で見えにくい ☐ 他の理由で見えにくい []
②排水ボーリング(流末施設) ※排水ボーリング吐口の有無を確認 ☐ 有 ☐ 無(見当たらない)	☐ 1.排水がない、もしくは排水量の明らかな減少 ☐ 2.吐口部周辺の損傷 ☐ 3.吐口部周辺の埋没	☐ 異常なし ☐ 異常あり (状況)以下に該当すればチェック ☐ 植生等で見えにくい
③天蓋 ※天蓋の有無を確認 ☒ 有 ☐ 無(見当たらない) ※点検口の施設: ☐ 有 ☐ 無	☐ 1.変形・損傷 ☐ 2.腐食(錆、表面劣化等) ☐ 3.点検口の鍵の損傷・腐食等 ☐ 4.点検口の鍵がかかっている(開いている)	☒ 異常なし ☐ 異常あり (状況)以下に該当すればチェック ☐ 植生等で見えにくい
④点検梯子 ※点検梯子の有無を確認 ☒ 有 ☐ 無(見当たらない)	☒ 1.変形・損傷 ☒ 2.腐食(錆、表面劣化等)	☐ 異常なし ☒ 異常あり (状況)以下に該当すればチェック ☐ 植生等で見えにくい
⑤安全施設(立入防止柵等) ※安全施設の有無を確認 ☐ 有 ☒ 無(見当たらない) ※入口の施設: ☐ 有 ☐ 無	☐ 1.変形・損傷 ☐ 2.腐食(錆、表面劣化等) ☐ 3.柵の錠の損傷・腐食等 ☐ 4.入口の鍵がかかっている(開いている)	☐ 異常なし ☐ 異常あり (状況)以下に該当すればチェック ☐ 植生等で見えにくい
⑥周辺状況	☐ 1.地表の変状 (沈下・隆起・洗掘・流出・崩落・押し出し・吸出し・亀裂等) ☐ 2.湿地の形成(水たまり、湧水等)	☒ 異常なし ☐ 異常あり (状況)以下に該当すればチェック ☐ 植生等で見えにくい

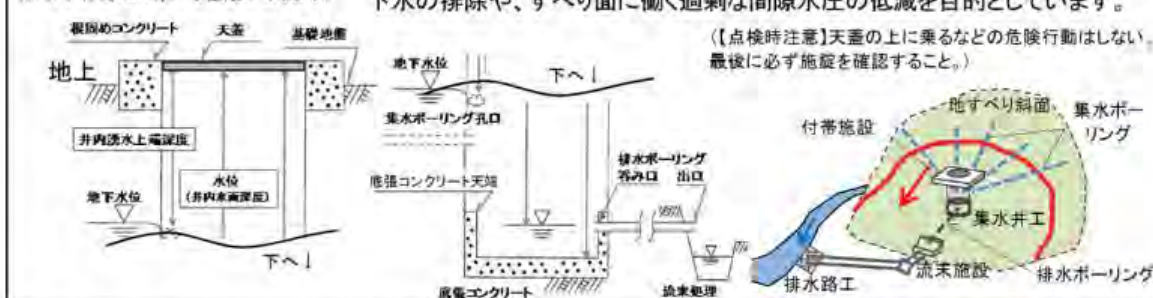
点検結果	☐ 異常なし ☒ 異常あり	∴上記で一つでも「異常あり」があれば点検結果も「異常あり」とする
------	--	----------------------------------

各項目および周辺状況で気づいた点があれば記入して下さい(自由記入)

15:35調査開始、
 内径:3.5m、
 立ち上がり:2.70m、
 蜂の巣確認

概略構造

(形状や材質には様々な種類があります)



評価 (施設管理者記入)	☐ 1.追加調査が必要 ☐ 2.補修が必要 ☐ 3.点検を継続
-----------------	--

様式-2(2)

日常管理調査票(2/2)

地すべり防止施設機能診断調査

<位置図・写真(自由書式)>

点検年月日	17 / 5 / 31	天候	曇り	点検者		(調査票番号: 5)
諸 元	区域名 丸山5号	ブロック名		施工年度	不明	
	該当施設(施設番号)					



様式-2(2)

日常管理調査票(2/2)

地すべり防止施設機能診断調査

<位置図・写真(自由書式)>

点検年月日	17 / 5 / 31	天候	曇り	点検者		(調査票番号: 5)
諸元	区域名	丸山5号	ブロック名		施工年度	不明
	該当施設(施設番号)					



様式-2(1) : 型03

日常管理調査票(1/2)

地すべり防止施設機能診断調査

<集水井工> 集水井外(安全な位置)から判別できる大きな異常の有無を確認する、点検口や立入防護柵等の施設を確認する

点検年月日 17 / 5 / 31 天候 曇り 点検者 (調査票番号: 6)

諸元	区域名	丸山6号	ブロック名		施工年度	1976年
	該当施設(施設番号)	[X] 集水井工			深度	不明 m

対象項目(□に○をチェック)	異常が見られる項目(□に○をチェック)	結果(□に○をチェック)
①集水井工内部 ※集水井工内部の視認の可否 ☒ 可 ☐ 不可(状況を下記に記載) <材質・種類> ☒ 鋼製(ライナープレート等) ☐ コンクリート製(セグメント等) ☐ その他()	☒ 1.変形・損傷(せん断、傾き等) ☒ 2.腐食(著しい錆等) ☐ 3.集水ボーリングの閉塞(孔口部に付着物がある) ☐ 4.異常湛水や土砂等の堆積 (異常湛水:集水井内部の底張コンクリート天端より水面が高い場合)	☐ 異常なし ☒ 異常あり 【状況】以下に該当すれば○を○ ☐ 植生等で見えにくい ☐ 他の理由で見えにくい []
②排水ボーリング(流末施設) ※排水ボーリング吐口の有無を確認 ☐ 有 ☐ 無(見当たらない)	☐ 1.排水がない、もしくは排水量の明らかな減少 ☐ 2.吐口部周辺の損傷 ☐ 3.吐口部周辺の埋没	☐ 異常なし ☐ 異常あり 【状況】以下に該当すれば○を○ ☐ 植生等で見えにくい
③天蓋 ※天蓋の有無を確認 ☒ 有 ☐ 無(見当たらない) ※点検口の施設: ☐ 有 ☒ 無	☐ 1.変形・損傷 ☐ 2.腐食(錆、表面劣化等) ☐ 3.点検口の鍵の損傷・腐食等 ☐ 4.点検口の鍵がかかっている(開いている)	☒ 異常なし ☐ 異常あり 【状況】以下に該当すれば○を○ ☐ 植生等で見えにくい
④点検梯子 ※点検梯子の有無を確認 ☒ 有 ☐ 無(見当たらない)	☒ 1.変形・損傷 ☒ 2.腐食(錆、表面劣化等)	☐ 異常なし ☒ 異常あり 【状況】以下に該当すれば○を○ ☐ 植生等で見えにくい
⑤安全施設(立入防止柵等) ※安全施設の有無を確認 ☐ 有 ☒ 無(見当たらない) ※入口の施設: ☐ 有 ☐ 無	☐ 1.変形・損傷 ☐ 2.腐食(錆、表面劣化等) ☐ 3.柵の錠の損傷・腐食等 ☐ 4.入口の鍵がかかっている(開いている)	☐ 異常なし ☐ 異常あり 【状況】以下に該当すれば○を○ ☐ 植生等で見えにくい
⑥周辺状況	☐ 1.地表の変状 (沈下・隆起・洗掘・流出・崩落・押し出し・吸出し・亀裂等) ☐ 2.湿地の形成(水たまり、湧水等)	☒ 異常なし ☐ 異常あり 【状況】以下に該当すれば○を○ ☐ 植生等で見えにくい

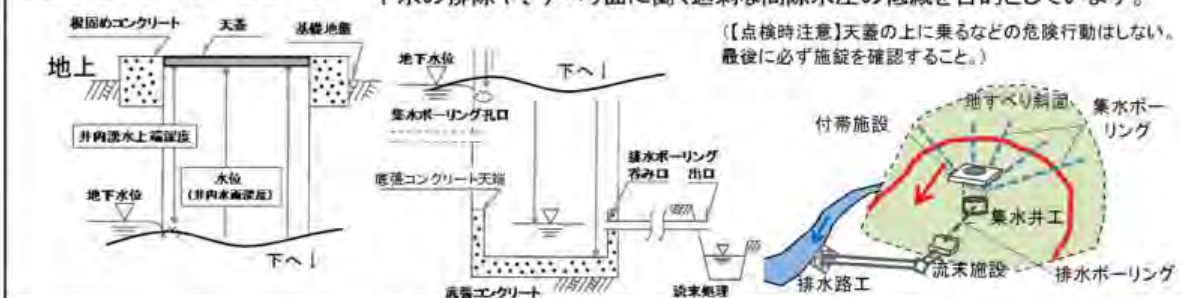
点検結果	☐ 異常なし	☒ 異常あり	∴上記で一つでも「異常あり」があれば点検結果も「異常あり」とする
------	-------------------------------	--	----------------------------------

各項目および周辺状況で気づいた点があれば記入して下さい(自由記入)

15:45調査開始,
 内径:3.0m,
 深さ(水面):9.08m,
 立ち上がり:2.59m,
 EC:365μS/cm, 水温:17.0℃,
 ライナープレートに腐食による穴あり(3ヶ所)

概略構造

(形状や材質には様々な種類があります)



評価 (施設管理者記入)	☐ 1.追加調査が必要 ☐ 2.補修が必要 ☐ 3.点検を継続
-----------------	--

様式-2(2)

日常管理調査票(2/2)

地すべり防止施設機能診断調査

<位置図・写真(自由書式)>

点検年月日	17 / 5 / 31	天候	曇り	点検者		(調査票番号: 6)
-------	-------------	----	----	-----	--	-------------

諸元	区域名	丸山6号	ブロック名		施工年度	1976年
	該当施設(施設番号)					



様式-2(2)

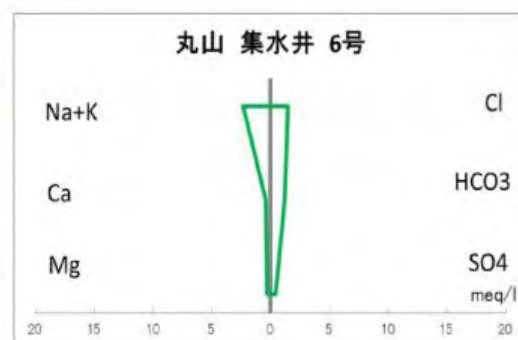
日常管理調査票(2/2)

地すべり防止施設機能診断調査

<位置図・写真(自由書式)>

点検年月日	17 / 5 / 31	天候	曇り	点検者		(調査票番号: 6)
-------	-------------	----	----	-----	--	-------------

諸元	区域名	丸山6号	ブロック名		施工年度	1976年
	該当施設(施設番号)					



<集水井工> 集水井外(安全な位置)から判別できる大きな異常の有無を確認する。点検口や立入防護柵等の施設を確認する

点検年月日 17 / 5 / 31 天候 曇り 点検者 (調査票番号: 7)

諸元	区域名	丸山7号	ブロック名		施工年度	不明
	該当施設(施設番号)	集水井工 ()			深度	不明 m

対象項目(□に○をチェック)	異常が見られる項目(□に○をチェック)	結果(□に○をチェック)
①集水井工内部 ※集水井工内部の視認の可否 ☒ 可 ☐ 不可(状況を下記に記載) <材質・種類> ☒ 鋼製(ライナープレート等) ☐ コンクリート製(セグメント等) ☐ その他()	☒ 1.変形・損傷(せん断、傾き等) ☒ 2.腐食(著しい錆等) ☐ 3.集水ボーリングの閉塞(孔口部に付着物がある) ☐ 4.異常湛水や土砂等の堆積 (異常湛水:集水井内部の底張コンクリート天端より水面が高い場合)	☐ 異常なし ☒ 異常あり 【状況】以下に該当すればチェック ☐ 植生等で見えにくい ☐ 他の理由で見えにくい []
②排水ボーリング(流末施設) ※排水ボーリング吐口の有無を確認 ☐ 有 ☐ 無(見当たらない)	☐ 1.排水がない、もしくは排水量の明らかな減少 ☐ 2.吐口部周辺の損傷 ☐ 3.吐口部周辺の埋没	☐ 異常なし ☐ 異常あり 【状況】以下に該当すればチェック ☐ 植生等で見えにくい
③天蓋 ※天蓋の有無を確認 ☒ 有 ☐ 無(見当たらない) ※点検口の施設: ☒ 有 ☐ 無	☐ 1.変形・損傷 ☐ 2.腐食(錆、表面劣化等) ☐ 3.点検口の鍵の損傷・腐食等 ☐ 4.点検口の鍵がかかっている(開いている)	☒ 異常なし ☐ 異常あり 【状況】以下に該当すればチェック ☐ 植生等で見えにくい
④点検梯子 ※点検梯子の有無を確認 ☒ 有 ☐ 無(見当たらない)	☒ 1.変形・損傷 ☒ 2.腐食(錆、表面劣化等)	☐ 異常なし ☒ 異常あり 【状況】以下に該当すればチェック ☐ 植生等で見えにくい
⑤安全施設(立入防止柵等) ※安全施設の有無を確認 ☐ 有 ☒ 無(見当たらない) ※入口の施設: ☐ 有 ☐ 無	☐ 1.変形・損傷 ☐ 2.腐食(錆、表面劣化等) ☐ 3.柵の錠の損傷・腐食等 ☐ 4.入口の鍵がかかっている(開いている)	☐ 異常なし ☐ 異常あり 【状況】以下に該当すればチェック ☐ 植生等で見えにくい
⑥周辺状況	☐ 1.地表の変状 (沈下・隆起・洗掘・流出・崩落・押出し・吸出し・亀裂等) ☐ 2.湿地の形成(水たまり、湧水等)	☒ 異常なし ☐ 異常あり 【状況】以下に該当すればチェック ☐ 植生等で見えにくい

点検結果	☐ 異常なし	☒ 異常あり	∴上記で一つでも「異常あり」があれば点検結果も「異常あり」とする
------	-------------------------------	--	----------------------------------

各項目および周辺状況で気づいた点があれば記入して下さい(自由記入)

15:55調査開始

内径:3.0m,

深さ(水面):7.3m,

立ち上がり:1.59m,

EC:363 μ S/cm, 水温:16.6 $^{\circ}$ C,

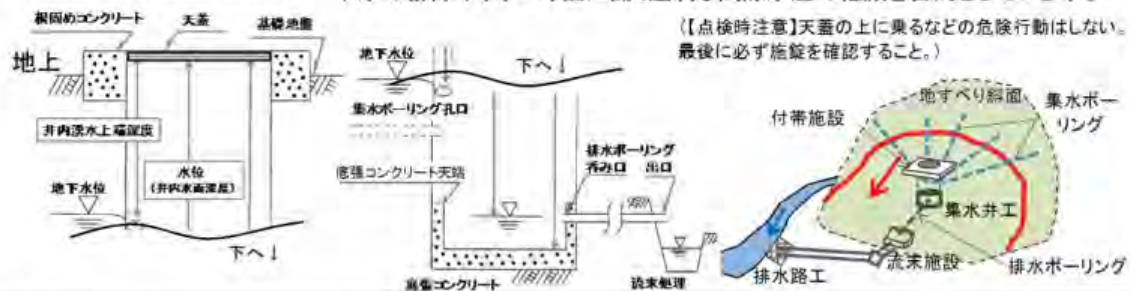
ライナープレートに腐食による穴あり(1ヶ所)、農業用水としてくみ上げ

概略構造

(形状や材質には様々な種類があります)

集水井工は、暗きょ工や水抜きボーリング工等で排除できない比較的深い地下水の排除や、すべり面に働く過剰な間隙水圧の低減を目的としています。

【点検時注意】天蓋の上に乗るなどの危険行動はしない。最後に必ず施設を確認すること。



評価 (施設管理者記入)	☐ 1.追加調査が必要 ☐ 2.補修が必要 ☐ 3.点検を継続
-----------------	--

様式-2(2)

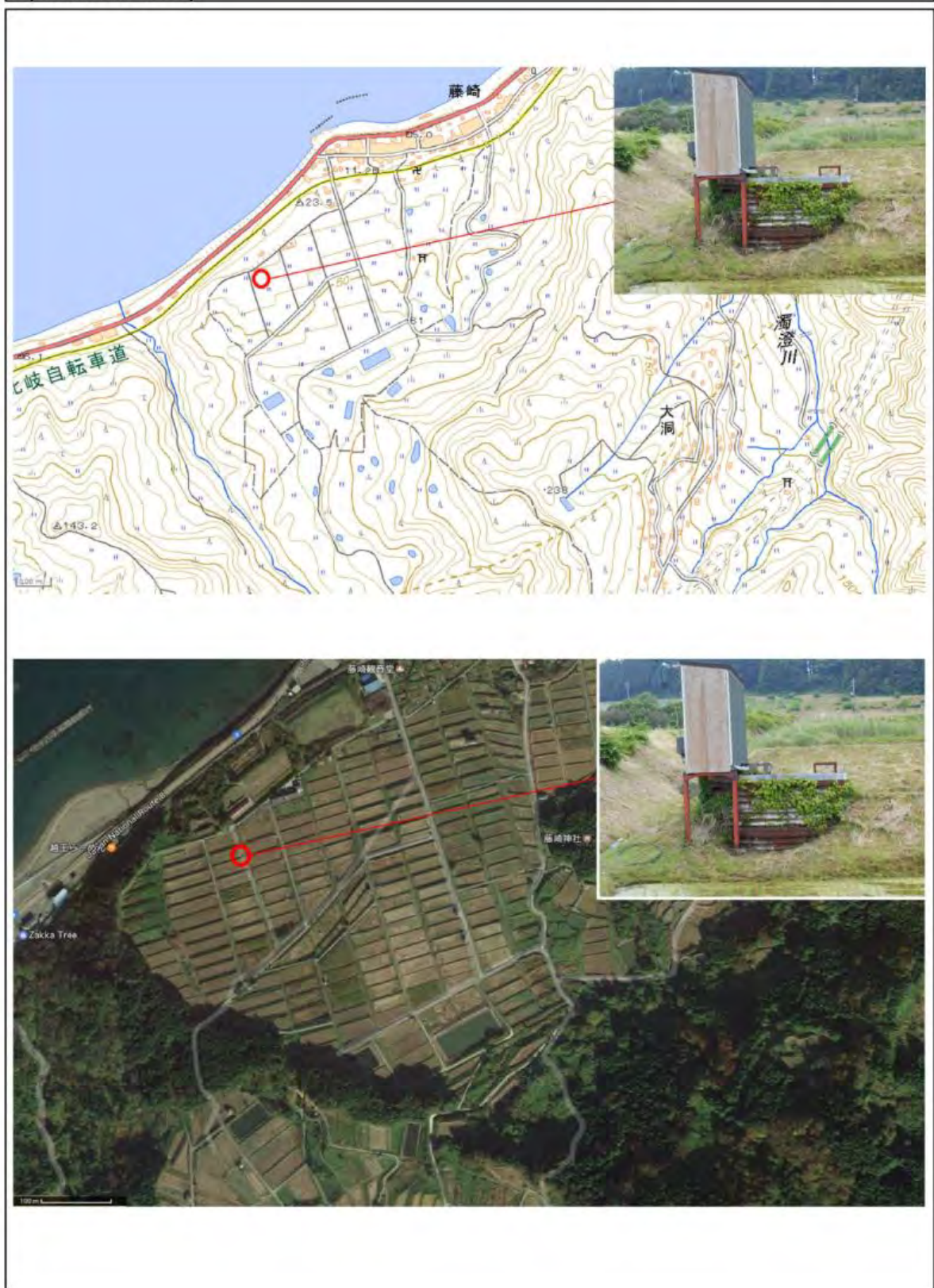
日常管理調査票(2/2)

地すべり防止施設機能診断調査

<位置図・写真(自由書式)>

点検年月日	17 / 5 / 31	天候	曇り	点検者		(調査票番号: 7)
-------	-------------	----	----	-----	--	-------------

諸	区域名	丸山7号	ブロック名		施工年度	不明
元	該当施設(施設番号)					



様式-2(2)

日常管理調査票(2/2)

地すべり防止施設機能診断調査

<位置図・写真(自由書式)>

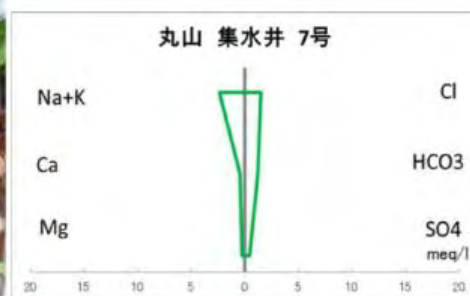
10.2. 集水

機能診断に関する集水井の調査表

次

ページから実際の調査で使用する調査表

点検年月日	17 / 5 / 31	天候	曇り	点検者		(調査票番号: 7)
諸元	区域名 丸山7号	ブロック名		施工年度	不明	
	該当施設(施設番号)					



を示す.

(1) 集水井の施設情報個表

集水井の施設情報個表

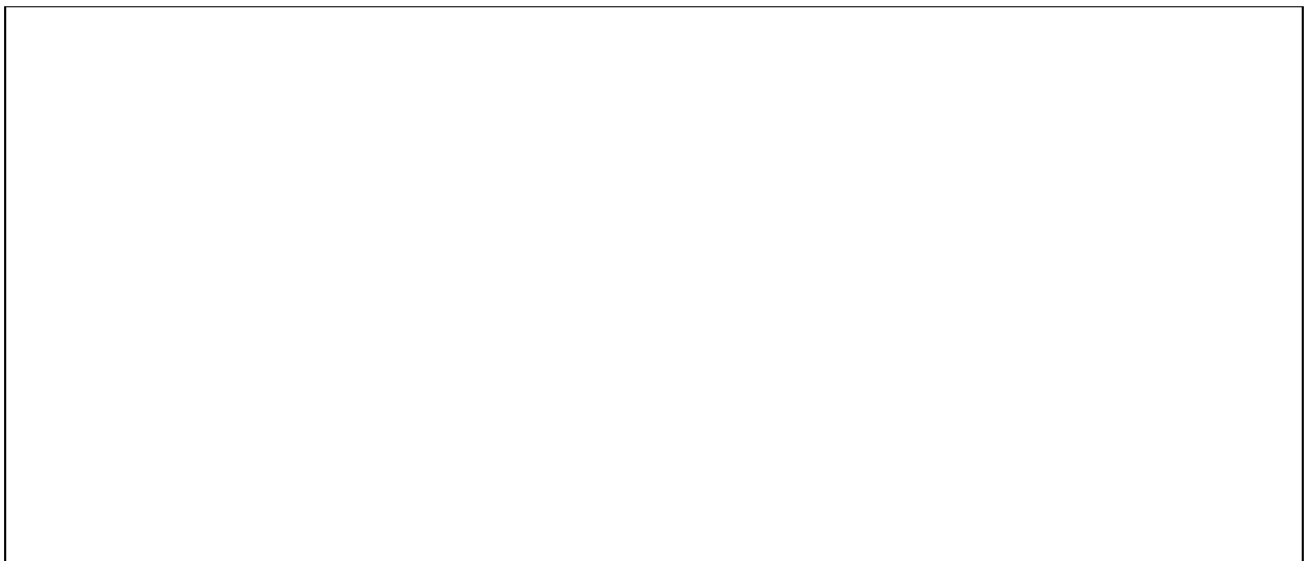
基本諸元			
調査日		管理者	農水省・林野庁・ 国交省・県
記入者		形式	ライナー コンクリート
施設ID			
地すべり区域名			
地すべりブロック名			
施設名			
施工年			
位置			
外観等からの諸元情報			
全体画像	☐	天蓋形式	エキスパンドメタル・他
天蓋画像	☐	メッシュ幅 (cm)	
直径 (m)		入孔蓋の有無	有・無
立ち上がり (m)		縫の有無	有・無
深度 (m)		入孔の可能性	可・困難
防護策形式			
内部の諸元情報（全方位カメラの情報を加味して）			
内部映像	☐		
点検梯子	直線 ・ らせん ・ 互い違いらせん		
ライナープレート	どぶ漬け ・ 黒皮		
集水Bの上段の数			
集水Bの上段の深度 (m)			
集水B下段数			
集水Bの下段の深度 (m)			
排水Bの状態	水面 ・ 水没 ・ 不明		
排水Bの数			
排水Bの深度 (m)			
補強リング間隔 (cm)			
パーティカルスティフナ本数			
ラテラルストラッド段数			
ラテラルストラッド本数			

集水井の施設情報個表-1 画像

全体画像



天蓋画像



内部画像

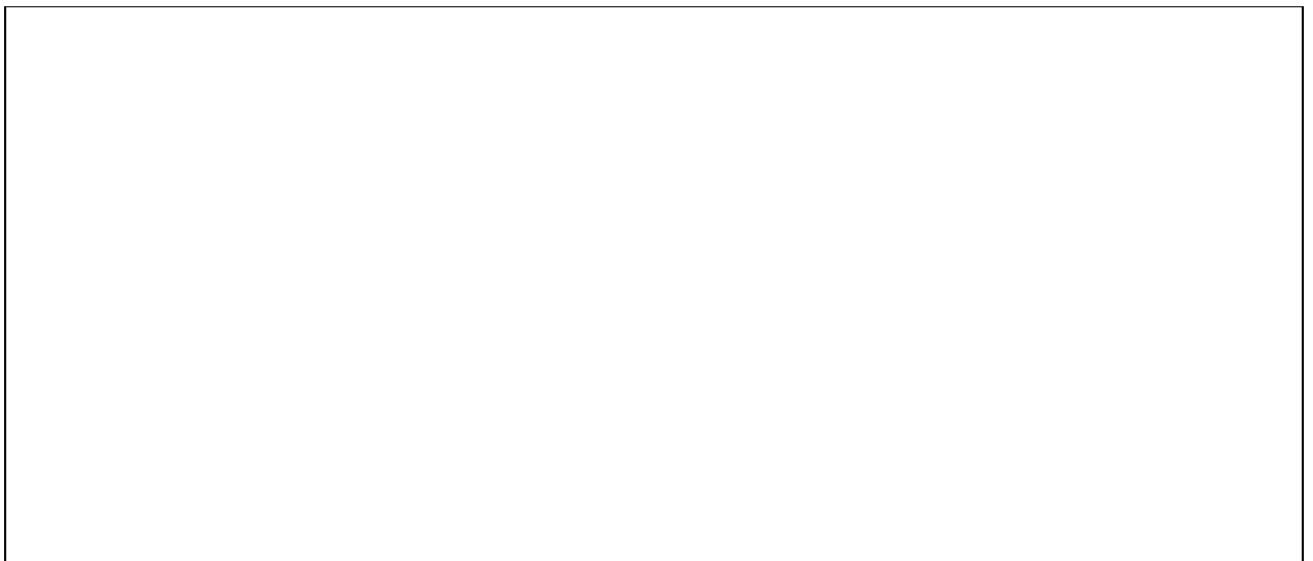


集水井の施設情報個表-2 画像

内部画像



内部画像



内部画像



(2) 集水井の施設状態個表

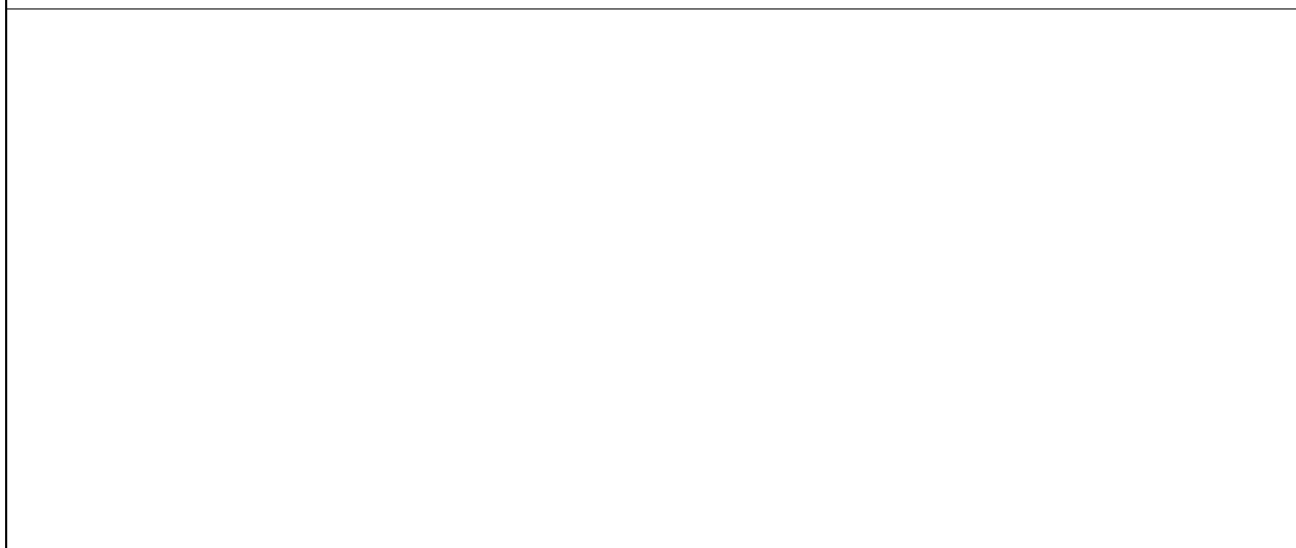
集水井の施設状態個表-1

基本諸元			
調査日		施設名	
記入者		施工年	
天候	晴 曇り 雨	位置	
地すべり区域名			
外観調査			
全体画像	☐	天蓋画像	☐
防護柵の有無	有・無		
防護柵の状態	良・不良		
周囲の地盤の状態	良・不良		
周囲の植生（集水井が発見できるか）	良・不良		
天蓋の状態	良・不良		
入坑蓋の状態	良・不良		
鍵の有無	有・無		
水位測定			
水位 (m)		底までの距離 (m)	
内部調査（目視、内部動画に基づく）			
内部画像	☐	内部画像	☐
点検梯子の状態	良・不良・危険		
ライナーの状態	良・不良		
補強リングの状態	良・不良		
パーティカルSの状態	良・不良		
ラテラルストラッドの状態	良・不良		
井筒の植生	小・多	木の有無	有（本）・無
上段集水Bの状態	良・可・不良		
下段集水Bの状態	良・可・不良		
排水Bの状態	良・可・不良		
井筒壁からの侵入水	小・多		
井筒の変形	有・無		

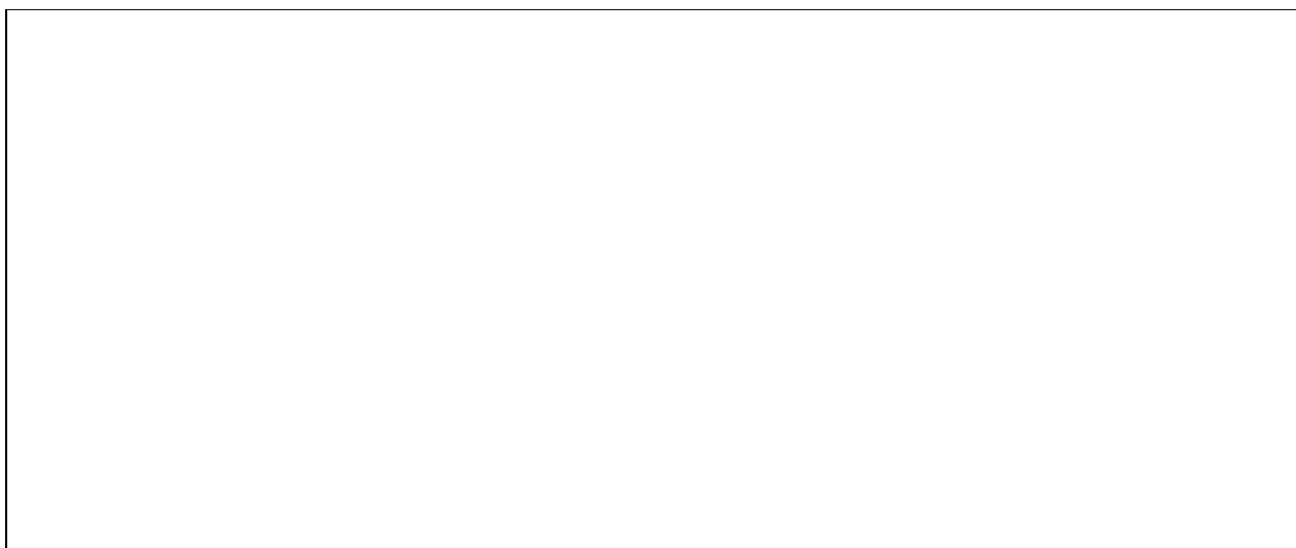
※2018/04/04 版

集水井の施設状態個表-2 画像

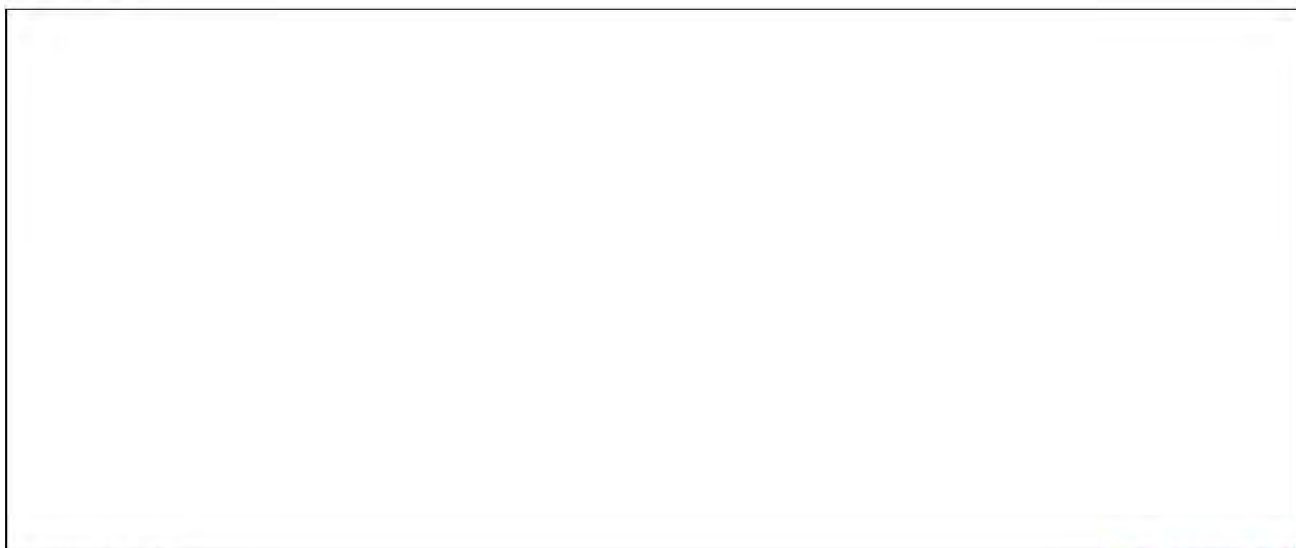
全体画像



内部画像

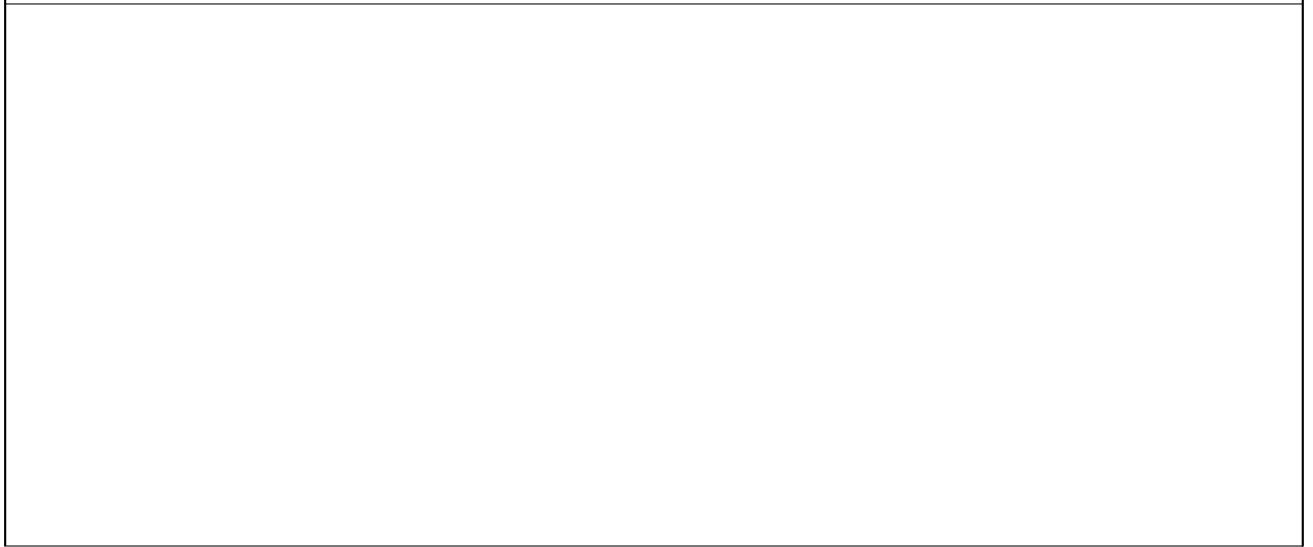


内部画像

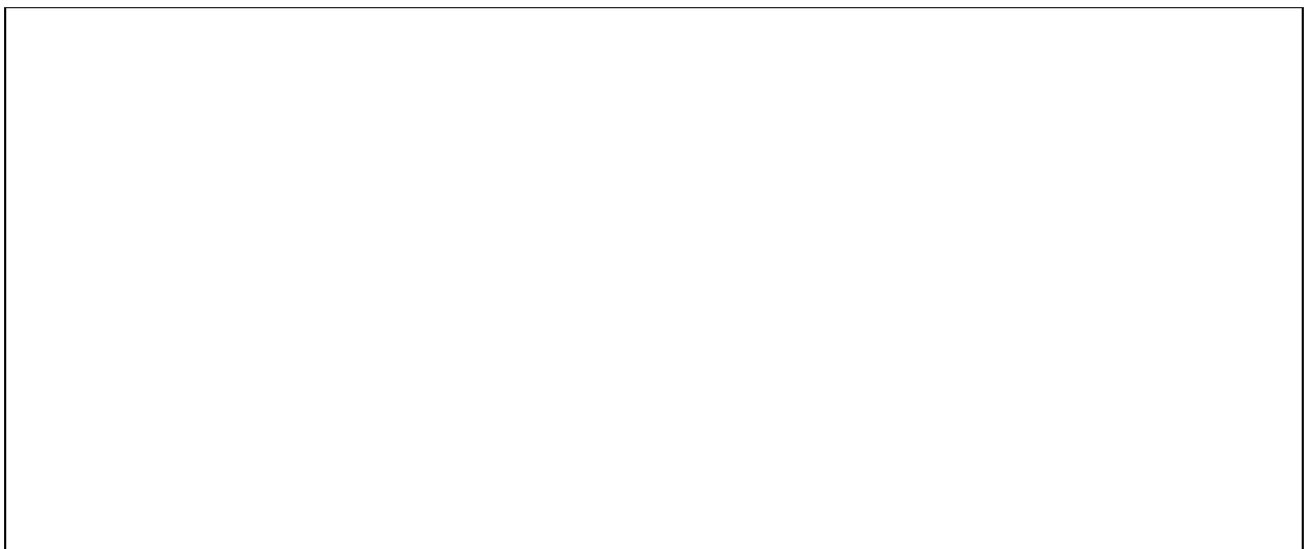


集水井の施設状態個表-3 画像

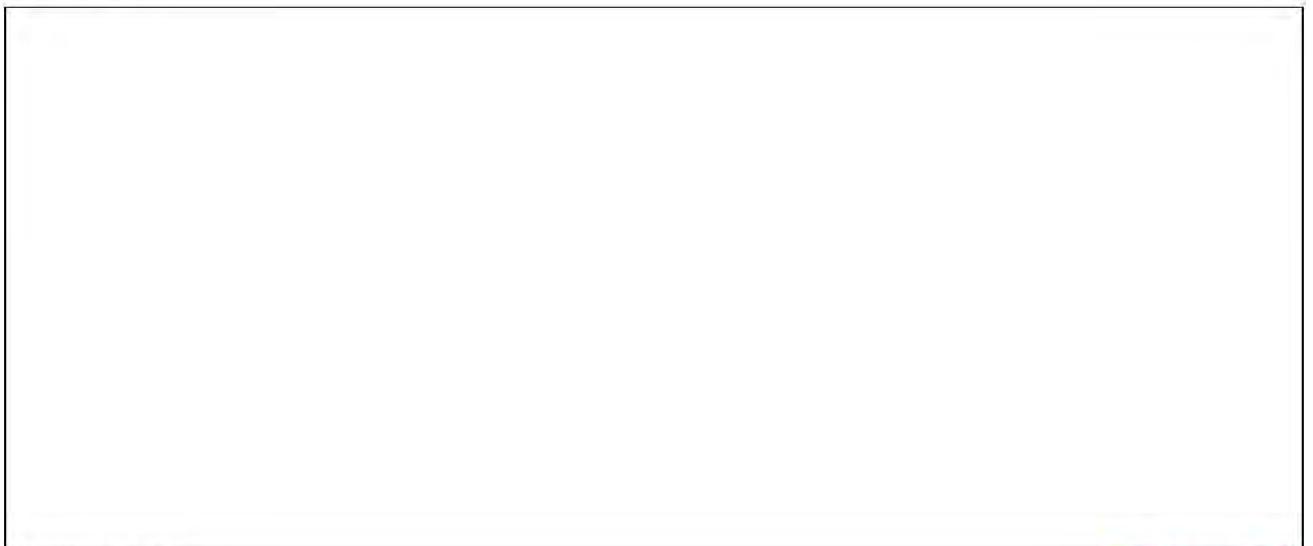
全体画像



内部画像



内部画像



(3) 集水井の施設情報個表の入力項目（案）

集水井の情報個表の入力案を以下に示す。これらの項目は、集水井の内部調査カメラ等を用いることで現状でも十分記載が可能な項目である。将来的に、状態評価の項目を決定していく中で、適宜修正を行う。

施設情報個表の調査項目

項目	例	計測方法	備考
施設 I D	0000001112	設計図書	IDの規則
地すべり区域名	丸山地区	設計図書	設計図書から
地すべりブロック名	A ブロック	設計図書	設計図書から
施設名	丸山 1 号	設計図書	設計図書から
施工年	1963	設計図書	設計図書から
位置	36.032660, 140.096854	GPS付き携帯電話 google Map形式	*1) 後ほど(2) で説明
管理者	農水省, 林野 庁, 国交省, 県	設計図書	設計図書から
形式	ライナー, コ ンクリート	設計図書	目視による
外観等からの諸元情報			
全体画像を撮影			集水井全体が写る画像
天蓋画像			天蓋の状況が分かる画像
直径	3.5m	メジャー	内径
立ち上がり	0.5m	メジャー	天蓋から地面までの距離
深度	20.0m	水位計	底までの距離
防護策形式		目視	防護柵があれば, 無いときは無
天蓋形式		目視	
メッシュ幅・長さ		メジャー	
入孔蓋の有無	有, 無	目視	
鍵の有無	有, 無	目視	
入孔の可能性	可, 困難	目視	安全に入孔できるかという観点
内部の諸元情報			
内部画像を撮影			集水井の内部画像
点検梯子	直線, らせ ん, 互い違いら せん	目視, 調査後動画	
ライナープレート	どぶ漬け, 黒 皮	目視, 調査後動画	
集水ボーリング 1 段	20 本	調査後動画	

目数			
集水ボーリング 1 段 目 深度	15.6m	調査後動画	天蓋から
集水ボーリング 2 段 目 数	18 本	調査後動画	
集水ボーリング 2 段 目 深度	20.6m	調査後動画	天蓋から
排水ボーリング 数	2 本	調査後動画	
排水ボーリング 深 度	21.3m	調査後動画	
補強リング間隔	0.5m	調査後動画	
バーティカルスティ フな-本数	8 本	調査後動画	
ラテラルストラッド 段数		調査後動画	
ラテラルストラッド 本数		調査後動画	

Google Map からの緯度経度の収集

- ① Android 搭載のスマートフォンに googleMap をインストールする.
- ② Android 搭載のスマートフォンまたはタブレットで Google マップ アプリ  を開く
- ③ 地図上でラベルが付いていない場所を押し続けます. 赤いピンが表示されます.
- ④ 上部の検索ボックスに座標が表示されます.
- ⑤ スクリーンショットで画面を保存して, あとで調査表に入力.

(4) 集水井の状態調査表の入力項目（現状の試行案）

集水井の状態調査表の入力項目（案）を以下に示す。この項目はあくまでも、現状の案であり、集水井の内部の動画を今後収集・分析する中で評価の目安共に作製を進める。

施設状態調査票

項目	例	評価項目	備考
施設 I D（自動）	000123456		基本情報がないときどうするのか？
点検年月日	2017/01/01 10:00		
点検者	中嶋勇		
天候	晴，曇り，雨		
外観調査			
全体画像			集水井全体を写した画像
天蓋画像			天蓋の画像
追加画像			2～3枚まで。防護柵，入孔口，周囲の状態など
防護柵の有無	有・無		
防護柵の状態	良・不良	防護柵内に人がはいれないか。防護柵自体が危険でないか。	集水井の敷地に人が侵入しない機能があるか（良） 防護柵を触れたりした場合に危険はないか（良）
状態説明	文章		防護柵の状況を腐食や破損を中心に記載
周囲の地盤状況	良・不良	集水井の周囲の湿潤・陥没から判断	集水井周辺に水が流れる。長靴でないと作業できないとき（不良）
状態説明	文章		湿潤，陥没を中心に記載
周囲の植生（視界）	良・不良	周囲の道路などから集水井が目視可能か	集水井の周辺が除草されているか，遠方から確認できるか
天蓋の状態	良・不良・危険	天蓋の上で作業ができるかで判断	良：落下防止器具を付けて作業可能 不良：専門業者の作業が必要 危険：天蓋に乗ることは危険
状況説明	文章		腐食，変形について記載
入孔蓋の状態	良・不良	変形，腐食，開閉可能か	腐食，変形がすすみ，開閉が不能なものが不良
鍵の有無	有・無	評価写真集が必要	
状況説明	文書		腐食，変形，開閉，鍵の有無
水位などの測定			
水面までの距離	20.0 m	水位計	天蓋から地面までの距離
底までの距離	20.5 m	水位計	底までの距離
内部画像 2			必須

			(点検梯子, 集水ボーリング, 水面, 植生などをいれて, 直径の両側から撮影する)
内部状況の把握 (内部調査カメラを中心に, 調査後に記載)			
全体内部画像			デジカメ等で内部を写した画像
内部動画			内部調査カメラによる画像
内部画像			内部調査カメラから抽出した画像
点検梯子の状態	良・不良・危険	点検梯子で集水井内に入坑できるかを動画等から判定	入坑可能 (良) 落下防止装置をつけた専門業者による入坑が可能 (不良) 落下のおそれがあり入坑不可 (危険)
状態説明	文章		点検梯子の状態を記載
ライナープレートの状態	良・不良		ライナーの腐食 (色), 土質材料の侵入, 濡れ
状態説明	文章		ライナーの腐食 (色), 土質材料の侵入, 濡れ
補強リングの状態	良・不良		エッジの腐食, ボルトの腐食, 変形
状態説明	文章		
バーティカルステイフナーの状態	良・不良		エッジの腐食, ボルトの腐食, 固定バンドの腐食, 変形
状態説明	文章		
ラテラルストラットの状態	良・不良		エッジの腐食, ボルトの腐食, 変形
状態説明	文章		
井筒の植生	小・多		
木の有無	有・無		
状態説明	文章		
1 段目集水状態	良・可・不良	良: 全本数集水 可: 全本数の半分以上が集水 不良: 全本数の半分未満が集水	P: 動画からは水滴が垂れているのはわかるが, どの程度閉塞しているかを判断するのは難しい
2 段目集水状態	良・可・不良		
排水 B の状態説明	文章		
排水 B の状態	良・不良		
井筒壁からの侵入水の状態			
井筒全体の変形			